



滝沢 一成 (政新クラブ)

信頼されるプロポーザル方式とするために



問／市のプロポーザル方式は根本的なルールが定まっておらず、出来レースなど官製談合の隠れ蓑にもなりかねない。令和4年度の金谷地区公民館設計業務やこのたびの通年観光計画のプロポーザルは、ゴールポストを意図的にずらして特定の業者に有利になるよう図ったように見える。発注受注は信頼の上に成り立つ。速やかに市独自のプロポーザル発注指針を策定すべきだ。

答／なるべく速やかに発注指針をつくりたい。

問／プロポーザル発注疑惑で市の信用が棄損されたことが真の問題。真摯に向き合ってほしい。

### 地域を元気づける契約方式

問／除雪や災害応急対策など、地域維持事業を担ってきた建設業者土木業者の減少・小規模化が進み、このままでは地域における最低限の維持管理も困難になる。担い手確保に資する工夫も必要である。公共工事の契約において、地元業者を支える地域維持型契約方式を積極的に取り入れていくべきだと考えるがどうか。

答／地域維持型契約方式の導入可能性を検討する。

問／平成29年を最後に、市は建設業界の声を聞いていないという指摘がある。定期的な対面式の意見交換や要望を聴く場を速やかに復活し、胸襟を開いて話せる環境を作るべきだ。

答／そのようにしたい。



丸山 章 (政新クラブ)

直江津区のまちづくりと観光振興



問／次のとおり「オーシャン・ヒストリーロード」構想を提案する。

■キーワード：歴史文化、海、夕日

■コンセプト：直江津の特徴、素材を生かした整理された美しい街をつくる。美味しい食材(地魚・米等)と地酒をとことん味わっていたたく。

■ねらい：国内外の観光客の増加、宿泊観光への誘導、移住定住、市民のさらなる向上心の醸成。

■位置：うみがたりから安国寺通り(県道直江津停車場線)を経て、直江津駅までの約1km。

■ロードの姿：魚類のオブジェ展示(67体)。街灯の設置(67基、夕日の色合いで街を照らす)。

■町家等の改修(昭和の風情を復活させる)。道路色をブルー又はオレンジ色に統一。無電柱化。

答／直江津の魅力を総合的にブランディング化して、市外への訴求力や発信力を高め、観光客増加を目的とした内容と捉え、参考にしたい。

### 公平・公正なプロポーザル方式の整備

問／公平・公正・競争性等を担保できないと市民に不信感を与えることになる。評価の在り方や、選定基準・規定等を整備する必要があると考えるがいかかがか。

答／基本的な考え方や汎用的な作業手順の整理が必要であると認識を新たにしたい。プロポーザル方式に関する要領等の整備を進める。



本山 正人 (みらい)

地域おこし協力隊受入れ後の成果は



問／受け入れた地域や団体は、本来の目的を達成できたのか。最長3年の中で、行政、地域団体のサポートはどうか。また、受入れが人手不足の解消だけになっていないか。任期終了後の定住率はどうか。

答／平成25年度から延べ24人の隊員を受け入れてきた。現在は市内各所で10人が活動している。受入れに関する様々な課題解消のため、募集の前段階から、受入れを希望する地域と任務や育成及び支援体制等を具体的に検討するとともに、退任後の生計基盤の確保にめどを付けること等に意を用いながら取り組みを進めている。

現在活動している隊員は、全員定住の意向を示しており、本制度の目的の実現に向けて進展しつつあると考えている。これまでの退任後の定住率は42・9%で、そのうち起業率は16・7%、就業率は33・3%、就農率は50%となっている。

### 各区総合事務所敷地内の環境整備

問／各区総合事務所の敷地内の除草や清掃等の管理体制と、職員の清掃に対する意識はどうか。

答／建物周辺の清掃や草刈りは業者委託であるが、年に数回は職員が終業後に美化活動を実施するなど、良好な環境維持に努めている。引き続き職員においても、日頃から環境美化の意識を持ち、環境の維持に取り組んでいく。